



高麗恵子 心模様作品展

内面が豊かで美しいことが人生豊かに生きられる事を、本音で生きることを経験して参りました。人間は内面の環境が取り巻く環境を作ります。まさしく内面が豊かで美しければ、取り巻く環境は豊かな環境と作られます。幼い頃より世界の平和を願い生きてきました。一人一人の内面が豊かである時、取り巻く環境が豊かになり世界全体も一人一人が豊かに生きることの良い世界が作られると見出ししました。心模様作品は内面の光景を表しています。

心模様作品が生まれた背景は2006年7月、私が永久名誉市民の称号を授与されたレバノンにあるティールがイスラエル軍によって破壊されたことがきっかけでした。たくさんの親しい方が暮らす地が破壊され、多くの尊い生命が失われました。悲しみのどん底にある時、悲しみをわかる人間はやるべきことがあると、内なる声が聞こえ、自分が何ができるのかを考えました。ある日夢を見ました。「千人針の一針を」の夢でした。戦地に赴く大切な人の生命の無事を祈る為に、一針一針、針を刺していった女性達の気持ちを甚く感じ、涙溢れ、私もレバノンにいる大切な人の生命が守られますようにと祈りながら内面の光景を表わし始めました。最初はタペストリー、ペンダントと作り偶然の巡りにより今はマーブリング染めの作品が多くなりました。マーブリング作品はNPO高麗の、比叡山にありますお茶室の中庭にて染めています。比叡山の風、光、琵琶湖からの水、そして私たちの生命と一つになった瞬間偶然生まれる模様がとても美しいです。レバノンにいる方は日本にいるあなた方と生命繋がっているの生命守られるとおっしゃり、大変喜び感謝の気持ちを伝えてくださいました。お守りのようにし、身につけてくださいました。海外へ行く時は、内面が豊かで美しい時幸運を招き豊かな人生が拓かれるとお伝えしご紹介しています。海外ではレバノン始めイラン、フランス・パリ、スペイン・マドリードにて心模様作品展を開催致しました。またロシア・ウラジオストクではギャラリーをオープンし、心模様作品をご紹介致しました。戦争が続く大変な時代を生きていく今です。どのような時代であっても内面豊かに美しく生きていければ、皆で幸せに力を合わせて生きていけます。内面の豊かさ美しさを表現することで皆が生きていける良い環境を作っていければと願い、この度盛岡にて心模様作品展を開催させて戴きます。ご来場頂けますことを心より願いお待ち申し上げます。ありがとうございます。

NPO 高麗
代表

高麗恵子

高麗恵子心模様作品展

日時：10月9日（水）

岩手銀行赤レンガ館
多目的ホール大

午前11:00～午後3:30

盛岡市中ノ橋通1-2-20

【バスの場合】盛岡駅よりバスで10分→
「盛岡バスセンター」のバス停で下車→
徒歩1分で岩手銀行赤レンガ館に到着。

【車の場合】盛岡ICより車で10分。
(専用駐車場はございません。
近隣の駐車場をご利用ください。)

南昌荘

午前11:00～午後4:00

盛岡市清水町13-46 TEL 019-604-6633

バス：盛岡駅前12番バス停から「水道橋行き」
に乗り「下の橋町」で下車 徒歩5分
徒歩：盛岡駅から約20分 カワトク（菜園）
ナナック（肴町）から徒歩で10分前後

(南昌荘入園料)

大人 300 円 小中学生 150 円



高麗恵子作品展
Instagram

高麗恵子パーソナリティーラジオ番組 「Live Your Dream - 本音で生きて下さい」

FM 仙台・岩手：毎週日曜日 am7:55～am8:00

FM 大阪：毎週土曜日 am7:55～am8:00

FM 青森：毎週日曜日 am6:55～am7:00 にて放送中

<https://www.keikokoma.com/>



KEIKO KOMA セレクション

「高麗恵子 心模様作品展」

主な開催履歴

京都文化博物館 別館ホール
2008年5月20日-23日

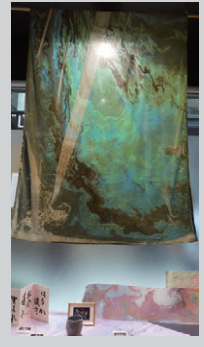
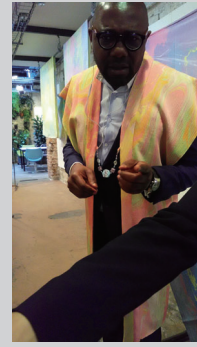


ユネスコパレス (レバノン・ベイルート)
2008年12月2日-6日



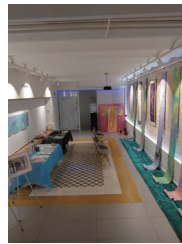
高麗恵子心模様作品展 in Paris

Discover Japan Paris(2019年9月23日~28日)
Espace Cinko(2019年9月24日~25日)



高麗恵子心模様作品展 in Madrid

LBK99(2020年1月21日~23日)



高麗恵子プロフィール

詩人。高麗恵子は幼い頃より父から高句麗王直系子孫であることを聞き、育つ。王の持つ自然、大地、宇宙、未来からメッセージを受ける感性をそのまま継承し、幼い頃より花や木々と対話し、世界の平和を祈り続ける日々を過ごして来ました。NPO 高麗の名前の由来でもある「高麗」は、高句麗の建国 (BC 1世紀) の精神「天の美、理想を地上に顕わす」を意味します。しかし高句麗の歴史が閉じられた (AD7世紀) 悲しみ、苦しみも体内に継承され、体を傷つけ、24才の時に絶望の内に精神的、肉体的にもどん底を経験しますが、いだきしん (斎藤忠光) との運命的な出会いにより、生命の内に受け継がれてきた高句麗の歴史が運命となっていることを解明、解放される経験により、生命助かりました。この時の奇跡的な経験をもとに、肉体の内面で起きていることが生き方の中心を占めていることを理解し、世界全体の中で自らの生きていく方向を見出しました。世界中の人々との人間的理解に基づいた交流から新しい平和な社会づくりを行うとの視点から自らの素質を普遍的なものへと高め、アーティストいだきしんと共に平和をテーマとする様々な芸術活動、NPO 活動を行っています。近年では毎年数か月間は海外各地を訪問し各国の歴史、文化、自然の豊かさを即興詩で表わす作詩活動とそれを舞台でも表現しています。過去、現在、未来をつなぐ壮大な作品として Legends of Koguryo Rediscovered 「高句麗伝説」と呼ばれるそのパフォーマンスは、海外では2005年に初めてレバノンにて開催し、2006年ブルガリア、2007年の海外ツアー (シリア、ブルガリア、ルーマニア、マケドニア、ヨルダン、中国の紫禁城) にて100回を超える開催となりました。2008年にはアルメニアにて、2009年はイスラム教国家であるイランにて革命後初となりました女性の舞台に男性が共に参加出来た「高句麗伝説」コンサートを開催し、再びレバノン、そしてロシア、2010年にはグルジア、アゼルバイジャンにて開催しました。2011年は東日本大震災の復興支援活動の為に海外コンサートは休止し、日本にてチャリティーコンサートを継続的に開催しました。被災地の子供達に独自のマーブリングにより一枚一枚染めたTシャツを送っています。2012年はインドにて開催。2013年再びインド・グジャラにて開催し、2024年8月現在までに277回の開催となっています。

2006年よりその芸術空間世界をオブジェとドローイングを組み合わせたユニークなタペストリー作品としても発表し、舞台、出版とともに立体的な表現を行っています。Keiko Koma 作品展は2008年ベイルートのユネスコパレス、2019年フランス・パリ、2020年スペイン・マドリードにて開催されました。ロシア、ウラジオストクにて高麗恵子ギャラリーを2019年11月にプレオープン、2020年1月オープンし、コロナ禍の為閉店となりました。2021年レバノンにありますシリア・パレスチナ難民支援のため、高麗恵子が染めたマーブリングTシャツ 他支援物資を寄付しました。2024年3月シリアの人々へ支援の物資を日本からシリアへ送る活動を実施。

ティール市 (レバノン) 永久名誉市民、NPO 高麗理事長、NPO いのち理事、株式会社いだき、株式会社ガイスト、有限会社高麗代表取締役社長
著作: 「出会い」、「八人の天女」、「本音で生きて下さい」、「高句麗伝説」、「本音で生きて下さい2: 時の威力」、DVD 付き詩集「麗花」、アラビア語詩集 (レバノン)、「京の四季」詩集、「北の大地」詩集、シリア「高句麗伝説」詩集

活動実績: 2024年8月まで、講演会1165回、「高句麗伝説」277回などに出演。また、現在までに国内や海外で1566回 (2024年8月現在) のいだきしんコンサート (「高句麗伝説」、「大地の声」のいだきしん出演分を含む) をプロデュース

